

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年8月25日
事業者名:	丸栄コンクリート工業株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・ 事業活動におけるCO2排出量の削減 ・ 事業活動における省エネルギーの推進 ・ 環境・森林保全への取組み	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに, ⑬気候変動に具体的な対策を, ⑮森の豊かさを守ろう	R5年度に社内にGX推進室を設置。脱炭素に取り組む体制を整備	指標	・ 事業活動におけるCO2排出量 ・ 事業活動における省エネルギーの使用量 ・ 環境保全活動の実施回数
				目標	・ 2030年度までにCO2排出量42%削減 (2021年度比) ・ 2030年度までにエネルギー使用量30%削減 (2021年度比) ・ 環境保全活動を年2回以上実施
社会	・ 従業員とその家族のウェルビーイングの実現 ・ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ・ リテンション施策への取組み	⑧働きがいも経済成長も, ③すべての人に健康と福祉を, ⑤ジェンダー平等を実現しよう	・ 障がい者雇用対策として特別支援学校の進路担当者の方を招いた工場視察を実施	指標	・ 育児休暇取得率 ・ 社員における女性比率、障がい者雇用率 ・ 離職率
				目標	・ 2030年度までに育児休暇取得率100% ・ 2030年度までに女性比率25%、障がい者雇用率3% ・ 入社3年時点の離職率0%
経済	・ グリーン製品の開発 ・ サーキュラーエコノミー実現に向けた資源循環技術の確立 ・ 国土強靱化に貢献するコンクリート製品の安定供給	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう, ⑪住み続けられるまちづくりを, ⑫つくる責任 つかう責任	・ 低炭素型コンクリート製品の製造に向けた取組みに着手 ・ 減災・防災に係る新製品の製造・販売の推進	指標	・ 低炭素型コンクリート製品に係る技術開発 ・ 製品並びに原材料の廃棄量 ・ 減災・防災に係る新製品の製造・販売額
				目標	・ 2025年度までに低炭素型コンクリート製品の確立 ・ 2030年度までに製品並びに原材料の廃棄ゼロ ・ 2030年度までに減災・防災製品売上高20%増加

ガバナンス	チェック	
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・ 2023年7月上記目標を記載した「サステナビリティ経営方針」を策定し、社員に周知 ・ 社内経営戦略室及びGX推進室が中心となり、定期的の実績を確認 ・ 2月に1回程度開催される役員会及び支店長会議で実績と課題等を報告・協議し。社員に周知
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・ http://www.maruei-con.co.jp/rinen.htm